土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

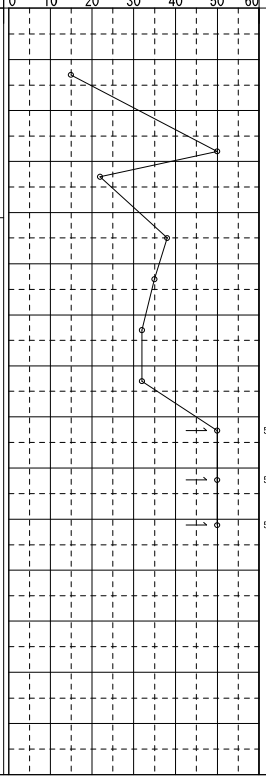
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.3-西ノ谷川-補助基準点1	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 08.4661″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 5月27日～ 令和3年 5月31日	東経	132° 33′ 15.3190″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 154.90m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	10.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D0 / エンジン：ヤンマーNS110 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	153.90	1.00		粘土質砂		暗褐			砂は細～中砂を主体とする 細粒土分を20～30%含有する 径5cm以下の礫を少量混入する	
	153.30	1.60		礫混じり粘土質砂		暗茶灰	rd3		中～粗砂を主体とする 径2cm以下の礫を20～30%混入する	
2	152.40	2.50		玉石		淡白灰			花崗岩質 L＝90cmの転石	
3	151.40	3.50		礫混じり砂		暗褐灰	rd3		中～粗砂の砂を主体とする 径3cm以下の礫を20～30%混入する	
4	150.70	4.20		玉石		淡白灰			花崗岩質 L=20～45cmの転石	6/3 4.10
5				礫混じり砂		暗褐灰	rd4		径7cm以下の礫を30～50%混入する 部分的にL=10cm程度の玉石が点在する 礫、玉石間は中～粗砂を主体とする砂である	
8	147.10	7.80		花崗岩		褐灰			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 長石類は白濁化している 造岩鉱物は風化変色している 径1cm以下の石英・長石粒が残存する	
10	144.90	10.00								

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
15	1.15	4	4	7	15/300		
	1.45						
50	2.65	15	23	12	50/300	300	
	2.95						
22	3.15	5	7	10	22/300		
	3.45						
38	4.35	9	15	14	38/300		
	4.65						
35	5.15	10	10	15	35/300		
	5.45						
32	6.15	6	7	19	32/300		
	6.45						
32	7.15	12	10	10	32/300		
	7.45						
50以上	8.15	17	21	12	50/240	240	
	8.39			40			
50以上	9.15	28	22		50/160	160	
	9.31		60				
50以上	10.05	38	12		50/130	130	
	10.18		30				

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				5/27
				5/28
				6/1